

1/10 電動オフロードカー FEMCA-CUP開催概要

☆ 主催

FEMCA、JMRCA

☆ 競技運営

JMRCA、JMRCA関東支部

☆ 期間

平成 24 年 4 月 6 日～8 日

☆ 場所

茨城県つくば市 谷田部アリーナ・オフロードコース

☆ 種目

1. IFMARで規定する電動オフロードカー2WDクラス
2. IFMARで規定する電動オフロードカー4WDクラス
3. SC(ショートコーストラック)

☆ 参加費

1クラス 6,000円

☆ 申込

参加者は3月9日(金)までに申し込む事。申込方法は下記の通り。

1. 大会会場が用意する申込書に必要事項を記入し参加費を添え申し込む。
2. 関東支部に申込書に必要事項を記入し参加費を添え郵送。
3. WEB 上で申込 & 決済。

☆ 競技規定

1-1 競技規定

2WD、4WDは2012年IFMAR規定に準ずる
<SCは下記の通り>

1. ホイールベース 最小320mm 最大340mm
2. 全長 最小540mm 最大570mm
3. 全幅 最小290mm 最大300mm
4. 最小重量(ボンダー込)2100g
5. 車体最低全高200mm
6. モーターは17.5ターンプラシレス
7. 後輪駆動でギアデフもしくはボールデフのみ

1-2 車検

1. 出走前にコントロールタイヤ、バッテリー電圧(8.4V以下)と温度のチェック(外気温5°C以下)を行う。
2. レース終了後に車両検査を行う。

☆ 競技運用規定

1-1 選手大会 ID

1. 大会期間中の無線機、車体、トランスポンダーNo等の管理は、大会選手リストで割り当たられた、選手大会IDを使用する
2. 受付時に渡される選手IDパスは、大会会場内では必ず携帯する事。
3. 大会IDシールは受付時に配布され無線機の見やすい位置に必ず貼ること

1-2 コントロールド・タイヤ

レジストレーション時にタイヤ1セット支給する。有償にて1セット追加購入出来る。

1-3 バッテリー

動力用バッテリーは主催者が用意し全ての参加者に無償にてレンタルする。
それ以外のバッテリーは使用できない。

1-4 無線操縦機器

1. 使用される全ての「無線操縦機器」は、国内に於いて認可された「周波数」、認定された無線操縦機器を使用する事。
2. 2.4GHz帯の使用を認める。(ただし財団法人日本ラジコン電波安全協会により公認された機器に限る) 日本国内に於いて認可された周波数(27&40MHz)を使用し、本大会に出場する選手は全員予備の周波数(27&40MHz モジュール交換式が最適)を持参する事。(バンド交換が出来ない場合、レースに参加不可)

3. 電波トラブルの申告はレースがスタート(計測開始時)する前までに競技委員長に申告のこと、計測開始後のクレームは一切受け付けない。

1-5 計測 システム

全てのレースは Mylaps 社製オートラップカウントシステムを使用し計測を行う。

下記事由での計測不能の場合、当該レースは失格とする。

- ①トランスポンダーの未搭載
- ②トランスポンダーの脱落
- ③トランスポンダーの給電不備(スイッチの入れ忘れ、断線等)
- ④その他 トランスポンダー本体の故障等による未感知

1-6 コースマーシャル

- ① 選手間の交代にて行う(前ヒートの選手が次のヒートのコースマーシャルを行う)但し、代理人でも可とする。
- ② コースマーシャルを怠った選手にはペナルティーが科せられる。

1-7 組み合わせ

- ① 練習走行及びコントロールプラクティスは無作為によるコンピューターでのヒート組み合わせを行い、ヒート出走順は各ヒートのゼッケン 1 番の選手による抽選もしくはジャンケンにより走行順を決める。コントロールプラクティス終了後組み合わせ変更を行う。(原則として、成績順とし、成績下位の選手からスタートとなる。)大会1日目終了後に組み合わせ変更を行う。
- ② 予選第1ラウンドに於いては、カーゼッケン順にスタートする。次ラウンドに於いては直前ラウンドの成績順にスタートする。但しヒート組み替えを行なった場合は組み替え後のカーゼッケン順にスタートし、その後のヒートは直前ラウンドの成績順にスタートする。

1-8 競技

5 分間の周回レース。予選はスタッガースタートのタイムトライアル

a 予選は各ラウンドの順位によりポイント制で行う。

b 決勝はグリッドスタートの順位レースとする。

予選レース中は、速い車を優先とし、決勝レース中は先行車を優先とする。

① 出走方法

a 予選時のスタートは「スタッガースタート」とし、オフィシャルの指示に従ってスタートする。決勝メイン、及びファイナル時は「グリッド」式スタートとし、音によるスタート合図に従い決められた位置よりスタートする。

b 先頭車が1周目のカウントを行う前にスタートできなかった場合、そのラウンドには出走できない。

② 予選

各ラウンド毎競技者はそのラップとタイムによってポイントを獲得する。最高の成績をあげた競技者へ与えられる獲得ポイントは、0ポイント 2位 2ポイント 3位 3ポイント以下、最下位へ1ポイントずつ増やしていく。スタート出来なかった選手(1日目欠席選手を含む)は、大会参加者数(エントリー数)プラス5ポイントを加算する。

a 有効ポイント

有効ポイントは予選の実施ラウンド数により決定する(ベスト 2 ラウンド) 有効ラウンドの獲得ポイントにより予選順位を決定する。

b 同タイム

同タイムが生じた場合は同じポイントを両者に与え、次の競技者は同点者1人につき1ポイントずつ増やしたポイントを与える。

c 同ポイント

2名、あるいはそれ以上の同ポイントの競技者がいるときは、最小ポイントにより順位を決定し、以下セカンド、サードポイントと有効ポイントの比較により順位を決定する、有効ポイントが全て同ポイントの場合は最小ポイント獲得時の周回数、タイムにより順位を決定する。

③ 決勝

予選結果により上位 10 名ずつグループにわけられる。上位グループからアルファベット順のメインに振り分けられる

レースは下位メインから行い、上位 2 名が勝ち上がることが出来る。

⑦ その他

a レース中、Mylaps の発信機(トランスポンダー)は使用する競技者の責任に於いて管理する。

b 競技期間中の進行は全て「主催者」によって行われ、当競技会に参加する者は如何なる場合でも指示に従う事。

c 競技車は競技期間中、競技委員長の要請ある場合は如何なる時でも検査を受けなければならない

い。

⑧ 罰 則

競技期間中に「競技審査委員」が不適格と認められた行為に対し、競技委員長に報告、競技委員長は報告に基づき「警告」または「罰則」を該当者に対して与える。今大会に於いて、同一選手が「警告」を合計 3 回受けた時点で

該当者は失格となる。また重大な違反行為、危険と判断される行為(走行を含む)が行なわれた場合は、退場処分若しくは該当選手のJMRCA公認競技会等への参加を禁止する。

<進行時>

- a 運営、進行上の妨げ行為については「競技委員長」「競技審査委員」より「警告」を与える。
送信機の返却の遅れ(スタート 30 秒前)。コースマーシャル不参加。コースマーシャル定位置に付くのが遅れる。スタート時に助手が速やかに競技車から手を離さない時。スタート順の間違い。ディレイ・スタート等に適用する。
- b. 競技審査委員が当協会の精神に不適格と判断される行為(マナー違反)があった場合、該当者に対し「警告」を与える。

<競技中>

競技中の違反行為についてはペナルティーを科す。判定は競技審査委員の一任とする。

ペナルティーは「ペナルティーエリア・ストップ&ゴー」「ピット・スルー」等で行い、ペナルティーの方法と停止時間は会場により決定し、内容については「ドライバーズ・ミーティング」にて告知する。

違反行為は下記の通り。

- ① フライング
- ② コースのショートカット
- ③ バット・ドライブ(逆走を含む)
- ④ コースマーシャル以外の救済
- ⑤ コースマーシャルによる修理
- ⑥ 競技審査委員の警告無視
- ⑦ その他